

みなみしょうぼうしょ

た　て　も　の

しょうかい



南消防署の建物の紹介



1 階



受付（うけつけ）

みなみしょうぼうしょ げんかん
南消防署の玄関です。

南 消 防 署 に 出 入 り す る 人 が こ の 受 付 の 前 を 通 っ
て 中 に 入 り ま す。

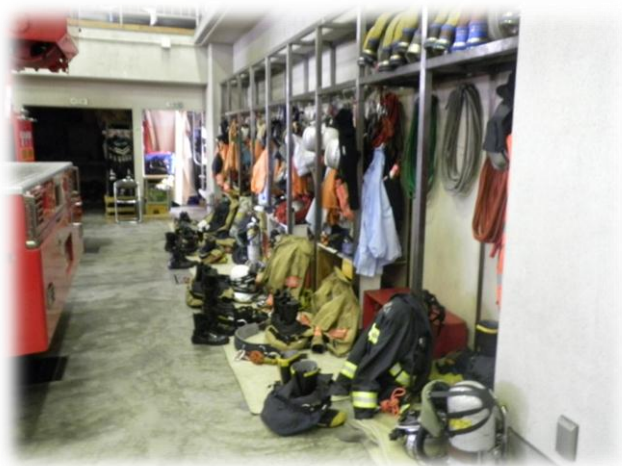
また、消防署の近くで火災や事故が起こったときは駆け込みで通報を受けたりしますので、受付には24時間消防士がいます。

車庫 (しゃこ)

みなみしゅうほうし　だい　しゅうほうしや　だい　きゅうきゅうしや
南消防署には7台の消防車と1台の救急車が
待機しています。

建物の火事や山火事などの火災出動、交通事故や
救急出動などさまざまな災害に対して、消防
車両を乗り換えて出動します。





出動準備

(しゅつどうじゅんび)

車庫の中には消防士が出動するために防火服や空気呼吸器などの装備を準備しています。

火災現場に早く行くために、1分くらいで防火服に着替えて消防車に乗り込み出動します。

2階

風呂場（ふろば）

2階には風呂場があります。

消防署では24時間災害に備えて仕事をしています。災害現場や訓練で体が汚れても、清潔にすることができます。



資機材倉庫（しきざいそうこ）

2階には資機材倉庫もあります。

この倉庫には水難救助や毒劇物災害など特殊な災害のための装備が置いてあります。

災害の内容にあわせて、必要な装備を消防車にのせて出動します。

3階

仮眠室（かみんしつ）

仮眠^{かみん}をとるための寝室^{しんしつ}です。

24時間勤務^{じかんきんむ}する中で、夜間^{よかん}の災害^{さいがい}出動^{しゅつどう}などでも全力^{ぜんりきょく}で消防^{しょうぼう}活動^{かつどう}するために休憩^{きゅうけい}を取^とって体^{からだ}を休^{やす}めています。

出動^{しゅつどう}指令^{しゅんれい}（出動^{しゅつどう}するときの放送^{ほうそう}）がなったらすぐ^あに起きて出動^{しゅつどう}します。



厨房（ちゅうぼう）

食堂（しょくどう）

消防署^{しょうぼうしょ}の台所^{だいどころ}です。

消防署^{しょうぼうしょ}はいつでも災害^{さいがい}出動^{しゅつどう}に備^{そな}えていますので、建物^{たてもの}の外^{そと}へ食事^{しょくじ}に出かけることはできません。

ですから消防署^{しょうぼうしょ}内で食事^{しょくじ}を作^{つく}って食^たべています。

4階

事務所（じむしょ）

普段^{みだん}はこの事務所^{じむしょ}で仕事^{しごと}をしています。

消防署^{しょうぼうしょ}の仕事^{しごと}は災害^{さいがい}出動^{しゅつどう}以外^{いがい}にも、建物^{たてもの}の火災^{かさい}予防^{よぼう}についてや市民^{しみん}からの防火^{ぼうか}相談^{さうだん}などさまざまな仕事^{しごと}があります。

どんな仕事^{しごと}をしていても、災害^{さいがい}があればいつでも出動^{しゅつどう}できるようにしています。





会議室（かいぎしつ）

消防士たちが会議をする場所です。

みんなでいろいろな仕事の話し合いや、火災についての研究をしたりして、より安全に確実に人の命を助けることを考えています。

5階

講堂（こうどう）

訓練や講習会などさまざまな目的で使用するための場所です。

学校の体育館と同じような場所で、市民の皆さんが集まって応急処置の講習会をしたり、会議をしたりします。



トレーニングルーム

体を鍛える場所です。

消防士が火事を消したり、人を救出するためには強い体力が必要です。

そのためにも、仕事のあいた時間を利用して筋力アップのためにトレーニングを行っています。

屋上



訓練塔（くんれんとう）

屋上^{おくじょう}には訓練^{くんれん}をするための施設^{しせつ}があります。

高い場所^{たかいばしょ}から人^{ひと}を救出^{きゅうしゅつ}したり、また、ロープな
どを使^{つか}って建物^{たてもの}に登^{のぼ}ったりする訓練^{くんれん}をしています。